

大田区(東京都)の一体的実施

平成25年10月1日事業開始

区役所庁舎内に「おおた就労支援コーナー」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等及び生活保護等の相談・申請段階の者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

区

福祉サービス、相談の実施等

① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者、児童扶養手当受給者及び生活保護等の相談・申請段階の者等に対する支援

② 協定・事業計画

- ・大田区長、東京労働局長及び大森公共職業安定所長の間で協定(※)を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を大田区、東京労働局及び大森公共職業安定所の間で策定

(※) 協定の実施等に関する重要事項を決定する際は、下記の運営協議会の意見を最大限尊重しなければならない旨を規定

③ 運営協議会

- ・大田区職員、東京労働局職員及びハローワーク大森職員をメンバーとする運営協議会を設置。(大田区長が会長)



国

職業紹介・職業相談の実施等

大田区蒲田地域庁舎内の福祉担当課と同一フロアにおおた就労支援コーナーを設置。身近な区役所で、国の職員が、即時の職業紹介と予約制・担当者制を組み合わせつつ対応し、一体的支援等を行い自立促進を図る。

(1) 実施体制

区

- ・就労支援業務担当職員(生活福祉課自立支援促進) 9名
- ・住宅支援給付担当職員(生活福祉課) 4名
- ・児童扶養手当担当職員(子育て支援課) 3名
- ・就労専門相談員(生活福祉課) 6名

国

- ・職業相談員(就職支援ナビゲーター等) 2名
- ・求人情報提供端末2台、職業紹介端末2台を配置

(2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標 (25年10月～26年3月)	取組状況(25年10月末時点)
新規支援対象者数	生活保護受給者等に対する就労支援(支援プラン策定)を新たに年間90人以上実施する。	支援プラン策定者数 15人
	* 10月開始の為6カ月間の目標	* 10月開始の為1カ月間の実績
就職率	就労支援の対象とし支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	支援プラン策定者数 就職者数 就職率 10月 15人 6人 40.0%
	* 10月開始の為6カ月間の目標	* 10月開始の為1カ月間の実績

一体的実施事業による就職成功例

男性：26歳 希望職種：プログラマー・経理事務

○ 本人の状況・背景

- ・親元から離れて支援が受けられず、短期間での離職を繰り返し、生活保護に至る。

① 抱える課題

- ・職場でのコミュニケーションが苦手である。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・職務経歴書の見直しを行い、自分の持ち味、強み、職場での実績・成果等を簡潔明瞭に作成。
- ・面接対策としては、離職歴や離職理由の質問に対して、前向きな姿勢を強調するように助言した。
- ・職種については自信のあるプログラマーに絞って応募するようにアドバイスした。

③ 結果

- ・プログラマーとしてアルバイト採用
(正社員登用見込みあり) ※支援期間 1カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・本人の強みが活かせる職種に絞ったことで、自信を持って応募ができ、採用につながった。

○ 本人のコメント

- ・やりたい仕事が見つかり、やりがいを持って仕事に取り組むことができるので、嬉しい。

男性：62歳 希望職種：マンション清掃

○ 本人の状況・背景

- ・アパレル系企業に勤めていたが倒産により退職。肺結核を患い収入が途絶え生活保護に至る。

① 抱える課題

- ・生活保護期間が続き、就労意欲も低下した。

② 支援内容・ポイント・経過

- ・キャリアの棚卸作業により、自身の経験の豊富さを再認識させた。
- ・履歴書や職務経歴書への記載表現を工夫することで自信を持って就職活動を行えるようになった。
- ・これまでのキャリアからコミュニケーション能力を活かせるマンション管理員に絞って応募した。

③ 結果

- ・マンション管理員としてパート採用
※支援期間 2カ月

○ 就職支援ナビゲーターの所感

- ・本人の優れた点を強調し、職歴等の表現を工夫することで、自信を持って応募ができて、採用となった。

○ 本人のコメント

- ・年齢・体力から希望する仕事には、就けないとあきらめていたが、この支援を受けて良かったと感謝している。